

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

1 事務事業の概要

1 - 1 事務事業の名称	墓園施設の整備事業（主要事業）								
1 - 2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	環境課	係	環境保全係	評価票作成者	環境保全担当係長 西山 紳	
1 - 3 総合計画における施策の体系	節	生活環境 「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			基本施策	火葬場・墓地		コード	1 1 4
					単位施策(中)	墓園の整備拡充		コード	1 1 4 2
	項	環境保全			単位施策(小)	墓園施設の整備		コード	1 1 4 2 2
1 - 4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	墓所使用許可者		意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）		使いやすい墓所にするため			
1 - 5 事務事業の内容	墓地の環境を維持するとともに墓地利用者に対する便宜を図るために、利用者の声を反映し墓園の整備拡充を図る。								

2 事務事業実施の状況

2 - 1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	雑草の除去、トイレの清掃事業を通して環境整備を実施した。	墓所利用者の声を反映した植栽・剪定作業を実施した。		きれいに整備されているお墓・安心してお参りできるお墓を望んでいる。	
平成19年度	夜間照明設備を整備し、地域の防犯活動に寄与した。		"	除草・剪定がなされたお墓を望んでいる。		
平成20年度	使用許可済みの墓所の維持管理を徹底させた。	参拝しやすい墓所の維持管理を望んでいる。		トイレの衛生管理について要望が多い。		
平成21年度	"	"		衛生環境の要望が多い。		
平成22年度	施設の老朽化による支障を適切に対処した。					
平成23年度	施設の老朽化による支障を適切に対処し、24年度に販売できるよう工事をした。					
平成24年度						
平成25年度						
平成26年度						
平成27年度						

2 - 2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名			前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明					
	墓園の使用許可総数(件)	3,000(件)	3,200(件)	お墓の使用許可数の総数							

2 - 3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a (件)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		直接事業費 b (千円)	4,482	3,935	3,780	3,884	4,657	5,887			
人件費 c (千円)	670	667	662	731	1,253	1,227					
合計コスト d (b+c) (千円)	5,152	4,602	4,442	4,615	5,910	7,114					
単位コスト d/a (千円)	1基当たり 1.79	1基当たり 1.58	1基当たり 1.50	1基当たり 1.53	1基当たり1.96	1基当たり2.35	当たり	当たり	当たり	当たり	

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 活動実数...墓園開所以来の累積許可数。直接事業費...墓園特別会計の墓園維持管理事務費。人件費(0.2人分)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)	2,873	2,913	2,957	3,008	3,019	3,024				
	後期目標値に対する達成度(%)	85.5	91.0	92.4	94.0	94.3	94.5				

3 専務事業の自己評価結果

3-1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	単年度担当課評価	A	A	A	A	A	A				

4段階評価結果 A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
 B : 専務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 C : 縮小等、専務事業としての見直しが必要
 D : 専務事業の廃止が相当

判断の基準 必要性(必要な専務事業であるか)
 公共性(公が実施する意味があるか)
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 市民満足度(専務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3-2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	専務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	平成18年度	維持管理費の捻出方法の確立が求められている。	効率的な維持管理を行う。	少ない経費で効果的な運用を図った。
	平成19年度	"	維持管理費をできるだけ切り詰めて行うようにする。	使用許可済みの墓所の除草を希望する利用者の声があり、使用者に対して除草を依頼した。
	平成20年度	墓園から出るごみの処理方法を検討する必要がある。	トイレの清掃を週1回から2回に契約内容を変更する。	墓所利用者からの苦情に対し、迅速に対応した。
	平成21年度	快適な環境を維持する必要がある。	トイレの修繕を検討する。	浄化槽の補修を実施した。
	平成22年度	墓園の造成計画と原構施設の老朽化に配慮した維持管理を行う。		
	平成23年度	墓園の造成計画と原行施設の老朽化(トイレの合併浄化槽化)に配慮した維持管理を行なった。		
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

4 専務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度	A	継続して事業を進めること。
	平成20年度	A	継続して事業を進めること。
	平成21年度	A	継続して事業を進めること。
	平成22年度	A	継続して事業を進めること。
	平成23年度	A	継続して事業を進めること。
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		